

満足と満足をつなぐ、私たちの石文化だより

編集／“いよせき倶楽部”編集部

いよせき

倶楽部

C&A
Communication & Answer



第192号

いよせき株式会社 〒793-0003 愛媛県西条市西ひうち3-21 Tel. 0897-55-1414 Fax. 0897-56-1454 E-mail: info@iyoseki.co.jp

石のこれから



■中国農民工事情



農民工(出稼ぎ者)の経済的な要因が減少傾向にあり、個人発展の可能性に対する関心が高く成っているようです。若い世代では、単純作業に対する忍耐力に欠け、自己中心的で企業の規則にも適応しようとしません。労働待遇や、職場環境に不満があれば、止めて次の就職先を探す状況です。労働集約型の企業にとっては大きな問題と成っているようです。[山内 隆]

新製品

「六角ろうそく立てM型」



笠と台を六角形にした高級感のあるろうそく立てです。 [光田 聡]

石のこころ

高知

「鬼石垣」

高知県高岡郡越知町にある桐見川五味白石の作業道から、山に向いて5分ほど歩いたところに鬼石垣と呼ばれている場所があります。今にも崩れ落ちそうな大小の石が急斜面に張り付きとても不思議な光景です。

人間が積める物ではなく鬼が積いたと言われており鬼石垣と呼ばれています。この言われからこの土地の字名も鬼石垣です。

[折本隼太]



Trend-watch

トレンドウォッチ

徳島

「IT化」

5年に1度の国勢調査が始まりましたが今回始めて試験的に一部の地域でインターネットによる回答受付も始まっているようです。いよせきもHPをより良いものにしていこうと日々更新・改良していますが、HPからの問い合わせが徐々に増えてきつつあります。お施主さんへの営業にしてもPCを持ち運んでお客様の目の前で現場合成したお墓のイメージを見せたり、その場で変更したりできるソフトなんかも開発されており活用されている石材店さんもいます。そういった時代の流れに乗ってみるのもいかがでしょうか。

[春山和宏]



石

の豆知識

『鷺ノ山石』

高松市国分寺町鷺ノ山で産出される石英安山岩質凝灰岩(俗に鷺ノ山石)は古墳時代に大型の前方後円墳に限定されて棺として中讃地域や大阪府で使われていたことが確認された。中でも、石舟天神社(高松市国分寺町新名1879)の石船石棺(イシフネセキカン)が見ることができる。現在も高松城の石垣の修復に使用されている。

[神野 浩二]



石棺の全長約3.5m、奥行0.9m。

社長白木の



永遠の念い

9月の初めにうちぬきウオーケラリーが開催されましたが、28日には重森三玲の庭園を探る講演会と現地視察が開催されました。日本庭園の大御所として知られる重森氏の作品は全国で200ほど作られたそうですが、その内、約半分が現存し、4つの庭園がこの西条に残されています。また、世界的に有名な石彫家のイサムノグチがニューヨークに日本庭園を作庭するために、重森氏に教えを請い、この西条にも来られたそうです。またその紹介をしたのが代々木体育館設計をした坂倉順三ということですが、全国的に有名な方々が、この西条で歴史に残る活動をされたかと思うと、ワクワクしますね。

2010年11月1日
白木秀典



Information

お知らせ

◆洲之内工場では、新商品として大島・青石墓石製品を各種加工しております。1基1基が自然な形を活かした製品から多種多様に加工致します。お気軽に担当営業にお問い合わせ下さい。「洲之内工場一同」

お客様の声

「ギャラリーのイベント、いろいろ企画していますね」(I様)